

「なばり新時代戦略（デジタル田園都市構想総合戦略版）」（素案）に
係るパブリックコメント意見募集結果及び戦略（案）について

案 件	「なばり新時代戦略（デジタル田園都市構想総合戦略版）」（素案）		
募集期間	令和6年11月18日～同年12月17日		
意見の件数 (意見提出者数)	13 件 (3人)		
意見の取扱い	修正	素案を修正するもの	1 件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	0 件
	参考	素案に盛り込めないが、今後の参考とするもの	6 件
	その他	素案に反映できないが、意見として伺ったもの	6 件

市民等の意見の概要	件数	意見に対する名張市の考え方
<p><第1章 人口ビジョン 13. 名張市の通勤による流入出人口 P20></p> <p>① 大阪への流出の大幅減少：高齢者の定年退職 ② 伊賀市への転出の拡大 1. データの読み込みが不十分である。 2. 特に②については、伊賀市との就業機会についての比較をしなければ、流出の理由が分からぬ。対策の必要性の可否も判断できない。</p>	1 件	<p>【その他】</p> <p>本ページでは、1990（平成2）年から2020（令和2）年までの5年ごとの通勤による本市の流入出人口を示したものとなっておりますので、ご理解いただきますようお願いします。</p> <p>なお、人口が増え続けてきた2000（平成12）年頃までは、特に大阪府や奈良県など関西圏への通勤者が多かった傾向にありましたが、2005（平成17）年以降は、通勤人口が流入、流出共に減少する中、関西圏をはじめとする他府県への通勤者が減少し、伊賀市や津市などの近隣市町村への通勤者が増加しており、就業形態が職住近接型に移行している傾向にあると考えています。</p>

<p><第1章 人口ビジョン 1.4. 産業別就業者の推移等 P 2 1></p> <p>第1次産業就業人口が激減している。後継者問題等の理由は理解しているものの具体的に1次産業をどうするのか言及していない。同じくデータの読み込みが欠落している。第1章のデータからの異常値のピックアップと原因の明示と具体的な対策が述べられていないので、「就農」への具体的な取組等の対策が必要。</p>	<p>1 件</p>	<p>【その他】</p> <p>本ページでは、産業別就業者の推移を示しておりますので、ご理解いただきますようお願いします。</p> <p>なお、関係部局において、名張市農業マスタープランを策定し、就農対策を含めた取組を進めるなど、具体的な対策については、個別の計画等により実施しています。</p>
<p><第2章 デジタル田園都市構想総合戦略 2. 本市の取組の全体像 P 2 5></p> <p>①人口減少を和らげる施策、減少を見据えた施策というアプローチは良いと思う。</p> <p>②ただし、次の目指す理想像は題目に終わり無意味。 ※「憧れの人」は本次次第で、つくるのは行政ではない。サポート内容こそ重要だと思われる。</p>	<p>1 件</p>	<p>【その他】</p> <p>本計画は、地域住民をはじめ、市内事業者、教育機関など多様な分野の方に参画いただいた委員会で意見交換等を行い、素案としたところです。</p> <p>本計画につきましては、市民の皆様と行政が共に創るもの、市民の皆様が主導となるものなど、行政主導で行う取組だけで構成した計画とはしておりませんので、ご理解いただきますようお願いします。</p>
<p><第2章 デジタル田園都市構想総合戦略 6. 人口減少を和らげる施策 P 2 9></p> <p>取組を推進する主な事業において、観光資源管理業務は下記理由において対策に当たらない。</p> <p>① まず、観光資源は日常生活とは別物である。観光による交流人口とは関わりはあるが。管理をしても人口減少の歯止めにならない。</p> <p>② そもそも資源や資産の管理業務は必要業務であり、人流や経済の循環をつくる意味にお</p>	<p>1 件</p>	<p>【修正】</p> <p>市総合計画「なばり新時代戦略」では、「語れるまちなばり」を基本理念とし、シティプロモーションの考え方を取り入れています。まちの魅力に気付き、まちに愛着を持ち、まちに関わるようになる人(活動人口)を増やし、市民、団体、事業者等との価値の共有を図りながら、まち全体の価値を高めていくようなシティプロモーションの取組を進める中で、関係人口や交流人口を増やし、本市の魅力を感じていただき、最終的に移住・定住につなげていきたい</p>

いては、管理とは違う「営業活動」が必要である。		と考えております。なお、いただいたご意見の内容を踏まえ、「取組を推進する主な事業」につきましては、「観光戦略推進事業」に修正します。
<p><第2章 デジタル田園都市構想総合戦略 6. 人口減少を和らげる施策 P 3 3></p> <p>地場産業とは何か、農業か製造業か。具体的な産業を明確にし、将来性の評価も重要。農業を指すのであれば、就農対策を明確にすること。</p>	1件	<p>【その他】</p> <p>本計画中における地場産業とは農業や製造業だけに限らずサービス業を含む広義的な意味で使用しています。なお、関係部局において、名張市農業マスタープランを策定し、就農対策も含めた取組を進めるなど、具体的な対策については、個別の計画等により実施しています。</p>
<p><第2章 デジタル田園都市構想総合戦略 7. 人口減少を見据えた施策 P 3 5></p> <p>①まずは現在の都市計画とのギャップの認識が必要(※用途地域見直し事業)。用途地域の見直しが目的ではなく、目的達成のための手段であることの理解が必要。高度成長下において策定された法律が現状にそぐわなくなっている具体的な状況の把握。</p> <p>②市街化を増やさない方向性と、用途地域見直し事業という矛盾点の解消策の明示が必要。コンパクトシティというからややこしくなる。民間企業でいう「効率化」という表現に変えた方が見直し事業の必要性と具体性が上がる。</p> <p>③空家対策事業をあげているが一朝一夕では対策につながらない。現状の空家等対策推進協議会は、諮問機関であり対策協議機能も持っていないよ</p>	1件	<p>【参考】</p> <p>いただいたご意見は関係部局と共有し、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

<p>うに思う。やるなら数値目標を設定し、月に1度の進捗会議において、反省と次の対策を繰り返すべき事業である。</p> <p>実戦部隊（プラットホーム）による侃々諤々の対策協議が必要であり、事業運営予算の計上もしなければ解決にはつながらない。</p>		
<p>＜第2章 デジタル田園都市構想総合戦略 7. 人口減少を見据えた施策</p> <p>○主な取組 土地利用に関する計画や施策について総合的な調整を行い、秩序ある土地利用を進めます。P 3 5></p> <p>土地利用に関する計画や施策の変更に際しては、関連する法令を遵守するとともに、慎重な取扱いが求められる。「主な取組」の一つ目の項目について、『土地利用に関する計画や施策について』のあとに、『法令等を遵守して』を追加してほしい。</p>	1件	<p>【参考】</p> <p>この取組だけでなく、あらゆる施策においても法令を遵守することが必要です。他の施策と同様に文言の追加は行いませんが、ご意見のとおり土地利用に関しては慎重な取扱いが求められると考えております。いただいたご意見は関係部局と共有し、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>＜第2章 デジタル田園都市構想総合戦略 7. 人口減少を見据えた施策</p> <p>○主な取組 様々な自然災害に対応できるよう市の災害対応力向上に取り組みます。P 3 9></p> <p>災害に強いまちづくりの具体化政策「コーチェネレーションシステム（C G S）」は災害時にも安定して電力・熱を供給できるため、防災計画や事業継続計画の観点からも有用なシステムです。災害時におけるメリットには、次のようなものがある。</p>	1件	<p>【参考】</p> <p>ご意見のとおり、コーチェネレーションシステム（熱電供給システム）は、発電装置を使用して電気を作り、発電時に排出される熱を回収して給湯や暖房等への利用が可能であるとともに、CO₂排出量を減らすことに役立つなど、非常時や防災に備えてバックアップ対策として導入されている事例もあると認識しているところです。</p> <p>いただいたご意見は関係部局と共有し、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・停電時に自立起動して、重要負荷に電力を供給できる ・停電対応仕様機を採用することで、商用系統の停電時にも電力供給を確保できる ・電力だけでなく熱の確保も可能であるため、工場の操業や病院等の機能維持にも役立つ ・都市ガスを使用する場合は、燃料供給を継続させることができると、備蓄の場所を必要としない等のメリットがある。 <p>工場や公共施設などの敷地内で安定したエネルギーを作り出せる分散型電源としてCO₂の削減や電力・燃料などのエネルギーコストの削減、環境負荷低減に貢献する。また、同システムの導入は、所有者の不動産価値の向上に寄与することもできる。環境負荷の低いガスタービン複合発電所（G T C C）を誘致し、同システムを導入する。これにより新たな企業工場を誘致し、雇用の増大（人口の増大）を大いに期待できる。</p> <p>更に将来的には、各家庭へ電気供給だけでなく、排熱を利用した給湯を行い「住んでみたくなる街」を目指す。</p>	
全体 <p>戦略内容が評論的で無難な内容となっているが、具体的なイメージが難しい。いわば「絵にかいだ餅」に終わりそうな項目も正直なところ散見される。</p>	【参考】 <p>本計画の策定においては、地域住民をはじめ、市内事業者、教育機関など多様な分野の方が参画した委員会で意見交換等を行った際にも、委員から計画の策定で終わりではなく実行が大切との意見をいただいている。今回いただいたご意見も、今</p>

		後の取組の参考にさせていただきます。
全体 まず、データの読み込みが浅く、データから読み取れる課題をもっと明確に表現した方が市民にも分かりやすいと思われる。伊賀市への転出をもっと考えるべきである。	1件	【参考】 いただいたご意見は関係部局とも共有し、今後の取組の参考にさせていただきます。
全体 地場産業という表現が、市民には具体的には伝わらない。もっと農業人口の減少について問題視した具体的な対策が必要ではないかと思われる。	1件	【その他】 本計画中における地場産業とは農業や製造業だけに限らずサービス業を含む広義的な意味で使用しています。なお、関係部局において、名張市農業マスターplanを策定し、就農対策も含めた取組を進めるなど、具体的な対策については、個別の計画等により実施しています。
全体 民間企業の中長期三か年計画やプロジェクトプランからすれば、予算や目標数値が明示されず概念的な目標しか出ていないことに違和感を覚える。実現性が伝わってこない。目標を明示しないと反省も生まれず、次の対策につながらないと思う。	1件	【その他】 本計画の策定においては、地域住民をはじめ、市内事業者、教育機関など多様な分野の方に参画いただいた委員会で意見交換等を行い、行政だけでなく市民、団体、事業者の皆様と共に人口減少社会の在り方を考えていくという趣旨に加え、ウエルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態のことをいいます。）の考え方を取り入れ、素案を作成しました。なお、予算については各事業において示していくものとなりますので、ご理解いただきますようお願いします。
全体 多くの地方行政の計画を読んでも、類似していて言っている内容はほとんど同じである。スローガンやビジョンだけ変えて、未来	1件	【参考】 いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

創造につながらないことは大手企業に勤務していた経験からも言えることである。事業自体をプロジェクト化して、予算を戦略的に配分することを提案する。